２０１３／０１　ＪＳＣＡ九州２２号

ＪＳＣＡ九州

発行・日本建築構造技術者協会九州支部
事務局：福岡市東区香椎駅東１－３８－６－１０３
TEL 092-692-8738 / FAX 092-692-8739
Web Site：http://jscakyushu.jp/

2013年巻頭言

2013 年新年のご挨拶

2013 年 1 月　　JSCA 九州支部長　尾宮洋一

昨年は辰年で、地震・津波・原発事故・政治不振の４連動を乗り越え上昇機運となるかと期待した年でしたが、実現は巳年の今年に持ち越しのようです。「巳」は「止む」の意味で、草木の生長が極限に達し次の生命が造られ始める時期と解釈されるそうです。今年に期待したいと思います。

一昨年１２月福岡県に提出した JSCA 九州支部他建築６団体の連名による構造計算適合判定機関複数化の要望に対し、「適合性判定制度あり方検討協議会」が１０月末開催され複数化へと漸く動き出しました。パブリックコメントが３月頃出される予定です。複数化実現まで、もう少し時間は必要ですが、動きは始まっています。建物の安全・安心の責任を担う構造設計にとどまらず、行政に対しても行動を起こせる団体として JSCA に対する周囲の認識が変わってきたと感じます。これらも、会員一人ひとりの日ごろの努力の成果だと考えます。

九州支部では、今を構造設計研鑽の時期と考え、各技術委員会や九州各県において、設計技術の啓蒙・向上として、講習会や見学会を多く開催してきました。長崎では、６月に建築構造展を開催し、学生を取り込んだ元気な地区活動の具体例を示せたと考えます。九州各県においても、それぞれの県に応じた地区活動を実施し、技術研鑽と交流に努めています。

福岡では、特に、動的応答と絡んだ振動解析セミナーには、新築および耐震補強にも応用したいと若手をはじめ多くの構造設計者が参加し、この分野での関心の高さが感じられました。

９月には、沖縄で役員会を開催し、沖縄地区会の会員皆様と熱い交流ができたと思います。また、青年部やなでしこ会の活動は、年ごとにたくましくなり、JSCA 会員であるなしを問わず将来の構造設計者のネットワークを築くべく、今年も広く九州一円での活動を期待します。

ご承知の通り、今年は支部長選挙があり、九州支部の組織が、大きく変わる年となりそうです。そのための準備は、万全に作ってきたつもりです。５月の支部総会以降も支部活動に、ご協力をお願いします。会員各自が問題意識を持って、それを解決する場として、自主的に利用していただきたいと考えます。

会員のみなさまも、健康には充分気をつけて、実りある１年を過ごしてください。

新年を迎えて

副支部長　　原　英基

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年５月に副支部長をお引き受けしてから８ヶ月ほどが経過しました。
この間、福岡地区においては構造計算適合性判定機関の複数化実現に向けた取り組みがやっと実を結びそうな状況となりました。年一回の地区持ち回り役員会が沖縄で開催され沖縄地区会の皆様のおかげで大変有意義で楽しい役員会となりました。構造デザイン発表会では昨年は九州支部から４名の発表がありました。
九州支部の最大の特徴は各地区との一体感にあると実感しています。今年もできるだけ多くの会員が支部事業に参加して、九州ネットワークの絆がさらに強まるよう皆さんと一緒に努力していきたいと思います。信頼できる仲間が増えることは構造技術者一人ひとりの大きな財産であろうと考えます。
今年もよろしくお願いいたします。

技術委員会

技術委員長

㈱JE 構造設計　　上瀧 邦宏

新年明けましておめでとうございます。

昨年の暮は、総選挙で慌ただしかったですが、皆様はゆっくりお正月を迎えられましたでしょうか。思えば 4 年前にアメリカで「チェンジ」を訴えてオバマ大統領が選ばれ、その後すぐ日本も自民党から民主党へのチェンジが行われました。あちらでは昨年は大統領選挙の年で、オバマ大統領が再選し国民の「信任」を受けた形となりましたが、我が国の方は突然の「解散宣言」と暮の選挙で国民はまたまた「チェンジ」を選択しました。我が建築構造界も、「姉歯事件」を発端としたチェンジによる混乱が、表面上は落ち着きを見せてはいますが、「適合性判定」の制度や、資格維持に必要な CPD 制度の、内容の改革の必要性等、芯では未だに燻っている感じがしています。私も還暦を迎えましたが、若い世代が安心して仕事ができるよう環境を整備するために、もう少し頑張らなくてはいけないなと、気持を新たにしております。

地盤系部会

地盤系部会長

清水建設㈱　　佐守 康司

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は JSCA 九州支部地盤系部会として、1 回の出張講習会、１回の会合及び年末 12 月 25 日の既製杭の施工現場見学会、の合わせて３回の活動のみと、やや低調な部会活動に終わってしましました。昨年の反省を踏まえ今年は講習会開催を含めより活発な部会活動を目指したいと考えております。講習会の内容としましては、一昨年からシリーズとして開催しております地盤改良・杭の設計施工に関する内容に合わせて、場所打杭の設計施工に関する講習会を計画しております。実務に近い内容の講習会を開催することにより、ご参加いただく皆様の平素の構造設計及び施工監理業務の一助となることを願っております。

最後に JSCA 会員の皆様のより一層のご健勝とご活躍をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

設計規準系部会

設計規準系部会長

吉原建築構造計画　　吉原　浩晃

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の部会においては他力本願ながら関係各位の御協力の下、振動解析の勉強会が開催出来ました。厚く御礼申し上げます。

さて、今年は自民党に政権が戻り、「アベノミクス」により建設業界にも活気が戻ることが予想され、すでに新規仕事の着工においては建設業に携わる職人さん等の不足やファブリケーターの仕事量の増加等、建設関係における人材不足が懸念されていると聞いております。大変な一年になりそうな予感です。

さらには、我々構造設計業界も新規仕事が増加し、仕事量が増えることが予想されます。会員皆様におかれましては、健康に留意され、ご自愛下さいますよう祈念致します。

今年は、皆様のより以上のスキルアップへの協力のため、設計部会主催の勉強会等の開催も、皆様方のご協力により頑張って計画したいと考えております。御協力の程、よろしく御願い申し上げます。

コンクリート系部会

コンクリート系部会長

㈱大林組　　伊藤　義弘

新年明けましておめでとうございます。

昨年度は会員の技能研鑽・技術力向上のための講習会として、７月に鉄鋼連盟九州地区サブネットワークの設計製作勉強会、１１月には西日本圧接協同組合と共催で技術交流会を開催しました。

本年度は、昨年と同様に鉄鋼連盟九州地区サブネットワークの設計製作勉強会、技術交流会等、会員皆様の構造設計者としての技術力研鑽、スキルアップの場を提供していきたいと考えております。

今後のご要望も含めて、会員皆様のご協力をお願い致します。

鉄骨系部会

鉄骨系部会長
大成建設㈱　　金子　文彦

九州に来てからほぼ５年が過ぎ、またＪＳＣＡ九州での活動も４年になります。鉄骨部会として過去に何度かは活動をしておりましたが、先の一年間は十分な活動が出来ないまま終わってしまい残念に感じています。以前から目標としている若い構造技術者のレベルアップを図って行きたいと考えています。日頃の業務の中で、鉄骨造は規格寸法の材料を溶接・ボルト接合で組み立てる工法であることから、解析計算結果を図面化する段階で難しい面があると感じています。鉄骨の基本的な知識を再確認し、さらには鉄骨の不具合が生じやすい事例などを踏まえた講習会、見学会等を行うことを今年の目標にしたいと思っています。

木質系部会

木質系部会長
川崎建築構造設計事務所　　川崎　　薫

新年あけましておめでとうございます。
昨年の木質系部会は、月１回ペースで木造建物の許容応力度設計（３号建物）の勉強を続けてきました。参加者はＪＳＣＡ会員に限らず、意匠設計や工務店等の方々も参加され、参加者の割合からみればＪＳＣＡ会員は参加者中３割程度と多くの会員外の参加を頂いています。今年ももうしばらくこの許容応力度設計の勉強を続けていこうと考えています。

今年の３月末には５年程前から多くの実験を行なって準備されていた伝統構法木造建物の設計法もまとまる予定です。今まで、伝統木造建物の為の設計法が確立されていなかったので、一部の設計者にしか構造設計されていなかった木造伝統構法の構造設計が広く開放されそうです。今度の設計法は建物のすべり、浮上がりも考慮でき、４号建物レベルから適判レベルまで対応できる編成になっています。限界耐力計算が計算法の基礎となっていますので、これからは振動についての勉強も不可欠となりつつあります。木質系部会もその対応を考えなくてはならない時期かもしれません。

これからも JSCA 九州木質系部会から木造設計について多くのことを発信していこうと思います。是非皆様のご協力をお願い致します。

特殊(PC)系部会

特殊(PC)系部会長

オリエンタル白石㈱　　内山　執樹

明けましておめでとうございます。当部会の活動目的は、プレストレストコンクリート（ＰＣ）構造に関わる建築物やプレストレス力を利用した最新の工法などの情報をいち早く会員の皆様や行政に関わる方々、一般市民の方々に提供し、より良い社会資本の形成に役立つことにあります。そしてこの部会活動を通してプレストレストコンクリート構造のより一層の普及をめざすものであります。本年も特殊（ＰＣ系）部会を宜しくお願い申し上げます。

さて、2013 年 1 月 25 日に宮崎市において宮崎地区会主催、当部会協賛で「津波避難施設の設計について」の講習会を開催します。内容は社団法人プレストレストコンクリート建設業協会　技術部会建築委員会でまとめられた資料が基になります。是非ご参加ください。

2013 年も PC の良さを視覚的に体験していただく為、できるだけ現場見学会を開催していきたいと思っております。特にご要望の多い、福岡市内での見学会を念頭におき計画していきたいと思っております。また若手技術者からの要望で、見学会は平日はやめてください。参加できません。とのことなので、そこも十分考慮したいと思っております。見学会開催の際には、是非出席していただきプレストレスコンクリート構造への理解をより一層深めていただきたいと思っております。

青年部会

青年部会長

㈱日本設計　　今林　光秀

私たち青年部は、福岡県内にとどまらず九州沖縄の仲間たち総勢 50 名となりました。
「若手のネットワーク作りと構造の楽しさ共有」の趣旨のもと、少しずつメンバーも増え、定期的に会合を行ってきました。また、遠方のため会合に参加できないメンバーにも情報共有できるような仕組みを整理し、誰でも自由に参加できる若手主役の集まりとしてやっています。昨年および一昨年に引き続き、今年も JSCA 構造デザイン発表会に青年部から発表者を派遣して、より一層のスキルアップを目指して行きたいと考えています。また、構造デザイン発表会青年部版や、街で見かけた構造デザイン談義などの気楽な会合、さらには建物見学会などを引き続き行い、メンバーの構造デザインに対する意識を高めて行きたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

なでしこ会

なでしこ部会長
清水建設㈱　　浅田　正子

あけましておめでとうございます。新年を『今年こそは』という思いで迎えておられる方も多いと思いますが、新しい年はなでしこ会としても変化していかなければならない年だと思います。以前に比べ、昨年は自主的な活動を着実に進めていくことができるようになった年だと思います。サミットと銘打った勉強会や定例のミーティングに、少ない人数ではありますが、参加することで情報交換や意識改革につながる活動を持てたメンバーもいるようでした。今年は今までのようにできることをできる人達で行うことだけではなく、みんなが何かひとつでも１回でも活動してみるということを呼びかけていきたいと思っています。そこから広がっていく何かがあることをすでに感じているメンバーもおり、こんな活動を通じてつながりを深めていける年にしていければ、と思います。また、事務局と副部会長の交代を行い、支部の皆さんとの協力体制も強くしていきたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

耐震改修促進委員会

耐震改修促進委員長
㈲広岡建築事務所　　松下　淳一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

所謂「新耐震設計法」が施行され３０年以上が過ぎ、現行設計法の限界を感じることが多くなっています。一方で一定の成果があったことも震害等から得られる事実であり、これ以前の既存不適格建築物の耐震化を優先的に進めなくてはなりません。

耐震改修が求められる建物は必然的に高齢化が進んでおり単純に耐震化のみで万全とは言えず、我々技術者には様々な対応が求められるようです。また公立学校の耐震化にはある程度目途が付き、今後は複雑な建物の改修が多くなることも予想されます。

耐震改修促進委員会では、微力ながら減災の一助となるよう、耐震改修を取り巻く様々な問題に取り組んでいきたいと考えています。皆様のご協力を今年もどうぞお願い申し上げます。

地区会報告

北九州地区会幹事

㈱タカシマ建築設計　　高嶌　千年

平成 25 年の新春を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、JSCA 北九州地区会の活動に多大なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年のわが国の経済は、一昨年に発生した未曾有の東日本大震災の影響が色濃く残る中、欧州問題の金融市場に与える影響、中国・韓国と領土をめぐる国際問題も噴出して、グローバル経済として予想も付かず、デフレ状態が続いています。その様な中、昨年暮れの衆議院総選挙で３年３ヶ月ぶりに自民党政権が復活することになりましたが今年こそは政・官・民の足並みが揃い国土強靭化計画を通して、政治経済が良い方向に変動するようそして、日本経済が力強く立ち直り再び成長軌道に乗ることを期待しています。

建築関係に携わる者として、明るい展望が開ける年となること願っています。

私たち建築構造技術者が培った知識、経験、技術を更に研鑽し「人の命を守る」専門技術集団として、構造の仕事通し身近な地域で専門性を発揮して、安全・安心に暮らせる町造りに積極的に貢献し、豊かな社会の実現に寄与していくことが重要な使命であると考えます。北九州市では、今年も更に耐震対策に力をいれ民間建築物にも耐震改修工事費等補助制度がより拡充されました。会員各社の技術を結集して、可能な限り社会にアピールして耐震対策に積極的な展開を図りたいと思っています。

また、今年は地区会員の増強と若手技術者の育成に努めて参ります。

ご関係の皆様には、一層のご指導とご支援をお願い申し上げますと共に皆様の益々のご発展を祈念いたします。

佐賀地区会幹事

江口建築設計事務所　　江口　達実

昨年は、デフレを脱却できないまま掛け声だけでいたずらに時を費やした年に思えます。そして大きい変化が起こり期待する中で、予測できる未来に起こり得るであろう事象に対し、微力ながら行動していく思いを強くした１年でもありました。

佐賀地区会ではＪＳＣＡ会員 15 名に加え、佐賀県構造家連絡会のメンバーと連携して、講習会の開催並びに各団体への講師派遣などを行ってまいりました。そして、勉強会・工場見学会等を開催し、スキルアップをできたことに満足しております。

主な活動内容は下記のとおりです。

① (社)佐賀県建築士事務所協会構造専門委員会委員派遣（5 名）
② (社)佐賀県建築士事務所協会耐震強度検討部会委員派遣（3 名）
③ 佐賀地区会総会（6 月）

（前ページより続く）

④ あと施工アンカー勉強会（6 月）
⑤ 鉄構工業会との交流会「UT 検査勉強会」（9 月）
⑥ 電炉工場見学会「東京製鐵」（12 月）
⑦ 伝統木造建築移築見学会（12 月）
⑧ 適合性判定員として業務（5 名）

今年は、構造設計者の更なるスキルアップを目的に振動解析入門セミナーを開催します。また、耐震補強現場見学会等を開催して構造設計への興味を持つ方を増やしていければと考えております。

長崎地区会幹事

堅 設計　　陣川 好高

あけましておめでとうございます。
長崎地区会の昨年は構造展開催と言う大きな目標に向けて、会員及び多団体と一緒に、充実した楽しい活動が出来ました。
今年もこの雰囲気を保ちながら、例会を通じて交流を深め、もっと気軽に会員や構造設計に携わる者が意見交換を出来る会を開催して行きたいと思っています。
会員同士の交流を通じてそれぞれの技術向上と、技術者としてのモラルを再認識する機会になれば良いなと思っています。
さらに JSCA 会員としての意識を盛り上げるためにも、他県の会員の方々とより多く交流を深められる事を願っています。
個人的には、最近大村湾で、シーカヤックツーリングを始めました。陸上から見るだけでは、分からない新しい発見が多くあり楽しんでいます。まだ近隣を３時間程度回っているだけですが、徐々に距離を伸ばし、夢は大きく大村湾一周と思っています。
本年もよろしくお願いいたします。

熊本地区会幹事

(株)岩永組　　赤星 靖

皆様、新年明けましておめでとう御座います。
昨年７月１２日未明からの大雨で熊本、大分では「これまで経験したことのない大雨」により甚大なる被害をもたらしました。熊本市の水災害に関してのハザードマップの再現期間は１５０年とされてますが、最近の異常気象を考えますと地震や台風も含めて防災、減災に対する備えを見直す時期にきているのかもしれません。さて、ＪＳＣＡ熊本地区会では、昨年１１月３０日に「東京スカイツリー・建設における技術的課題とその克服」というテーマで講演会を開催しました。平日の午後にも関わらず他地区の会員の方も含め大勢の方に参加頂きました。
今年は学生さんや若手技術者を対象としたイベントを企画したいと考えております。

大分地区会幹事

㈱日構設計　　高橋 正夫

新年、明けましておめでとうございます。

一昨年３月に発生した東日本大震災は私たちの想像を遙かに超える地震災害を発生させました。その後も全国各地で群発地震が続き、日本国中が地震災害に対し不安を抱いています。衣食住の一端を担う建物の構造設計に携わる私達にとっても深刻な課題をつきつけられました。また、東日本大震災以降の日本経済は悪化の一途をたどり、私達の生活環境にも大きな影響を与えてきました。

しかし、昨年末の衆議院選挙の結果、新しい政権はデフレスパイラルからの脱却、経済の再生を目指し、数々の新しい政策が打ち出されています。「昨年よりも今年こそは」という希望を胸に抱き、私達は人々が安心して生活できる建物の耐震安全性を確保する専門家として技術の研鑽に努力することが必要と考えます。

今後とも、若手構造技術者の育成を行なうとともに、JSCA 会員の相互連携を深め、迎えた新しい年が我々にとって素晴らしい一年になる事を心から祈念申し上げます。

宮崎地区会幹事

大塚建築設計事務所　　大塚 節生

新年、明けましておめでとうございます。

昨年末には政権交代もあり、今年は公共事業投資の増加予算も囁かれておりますが、大半を道路や橋、トンネル等の土木補修に使われそうで、建築の方に予算がまわるのかと期待や心配をして一年の初めを迎えたところです。とはいえ借金頼みの大盤振る舞いの政策でよいのかと懸念されます。宮崎県は景気の落ち込みは最初に、景気の上昇は最後にと言われている土地柄です。

現在、学校及び公共施設の耐震診断、補強が一部を除き一段落しました。今後、民間施設の耐震に対する関心が高まり、補助金等も整備されれば新たな仕事の拡大に繋がる事と思われます。

宮崎地区会では、昨年新しい試みとして「JSCA 宮崎地区会青年部」を立ち上げＪＳＣＡ会員と同等の待遇を受けられる事とし、若手構造技術者を募集したところ、１０名の参加をいただきました。現在講習会、懇親会等に参加をしていただき若手技術者の育成、スキルアップのお手伝いができればと考えています。今後 JSCA 正会員となってもらい、若い人の会員拡大の柱となる様に活動していく予定です。

JSCA 宮崎地区会としては、講習会や見学会を通じて技術者としての資質の向上を図り、他団体との交流を密にして活発な宮崎会にしていきたいと考えています。

今年は景気回復を願い建築業界にとって未来ある一年になりますように願っています。

鹿児島地区会幹事

㈱東条設計　　鎌田　道清

あけましておめでとうございます。
昨年４月から鹿児島地区幹事を務めさせていただいております鎌田です。初めてでどの様に活動したら良いかとまどう事ばかりでしたがＪＳＣＡ鹿児島の皆様の協力を頂き新年を迎える事ができました。
また昨年は、構造デザイン発表会に参加し貴重な体験をする事が出来ました。発表会への参加はＪＳＣＡ鹿児島としても継続して参加して行くよう今後の行動目標に掲げて活動したいと考えています。
私たち構造設計者への要求水準が高度化する中、会員相互の情報交換、互いの技術力ＵＰをベースにＪＳＣＡ鹿児島の会員の増員と組織の強化を図り、構造設計技術者の社会的地位の向上を全員で取り組んで行くよう頑張って行きたいと思っています。

沖縄地区会幹事

㈱ 国建　　花城 和雄

新年、明けましておめでとうございます。
東日本大震災からやがて２年が経とうとしています。沖縄県で住宅支援を受ける被災者 171 世帯の半数以上が、県内定住の意志を固めたとの報道がありました。「帰る当てがない」が主な理由です。1 日も早い被災地の復興を願うばかりです。
　さて、沖縄地区会ですが、昨年は第 1 回 JSCA 九州役員会が本県で開催されました。その中であった JSCA デザイン発表会への九州地区参加作品の紹介は、同発表会への派遣事業（旅費半額補助により８人を派遣）を後押ししてくれました。さらにそれが 11 月末の地区内デザイン発表会に繋がりました。開催すること自体の意義を実感しました。
　今年も地区内デザイン発表会を開催し、その先の JSCA デザイン発表会への地区会１作品の発表に繋げていきたいと思います。
　今年は巳年、蛇は脱皮して成長しますが、“ 沖縄だから ” から “ 沖縄でも ” に脱皮できるかどうか、楽しみです。
　皆さん、今年も沖縄地区会を宜しくお願いいたします。

平成 24 年度　JSCA 九州支部役員会 in おきなわ　報告

日程と行事の概要

○役員会　時間：14:00～17:00
　　場所：沖縄県立武道館　1 階会議室
　　参加者：31 人＋沖縄 9 人→合計 40 人

○懇親会（Ⅰ部）
　　時間：17:45～19:45
　　場所：サンセットクルージング＆バーベキュー
　　参加者：31 人＋沖縄 18 人→合計 49 人

○懇親会（Ⅱ部）
　　時間：20:00～22:00
　　場所：我如古（がねこ）より子　民謡ステージ　「歌姫」
　　参加者：28 人＋沖縄 12 人→合計 40 人

オプションツアー

○海底トンネル・換気塔見学会
　　時間：空港側換気塔
　　時間：11:00～12:00
　　参加者：9 人＋沖縄 36 人→合計 45 人

各行事活動報告

○役員会関連

【役員会当日までのあゆみ】

H24 年 6 月 1 日　【体験ディナークルージング】　17;45～19;30

この頃は、候補地が

・「宜野湾市コンベンションセンター裏、トロピカルビーチでのバーベキュー」
・本島中部　恩納村内でのバーベキュー
・南部海浜公園、首里城公園周辺、その他

と上がっていたなかで、まずは、第一候補のクルージングで皆さんをお迎えするのに、揺れ、料理等に問題ないか体験してみようということになりました。皆さんに喜んで頂ける確信を持ち開催決定。

・役員会の時期は台風シーズンで 2 週間毎に襲来していましたので、万が一に備え、クルーズ船が出航可能であっても、揺れによる船酔いを避けるために、懇親会Ⅰ部の代案として、近くの居酒屋も予約していました。当日は丁度台風襲来中間で、大変良い天気に恵まれてホットしました。

H24 年 8 月 10 日【役員会成功に向けて地区会会員間の結束を図るための地区会懇親会】18:00～

役員会が 1 ヶ月後に迫ってきた時期に、地区会員の盛上げて最高潮に持っていく為の懇親会を開催しました。これでグッと結束と勢いが増し、第Ⅱ部の民謡酒場「歌姫」まで下見で流れていきました。地区会で二次会に流れたのは、これが初めて！

○9 月 7 日　ＪＳＣＡ九州支部役員会

定例の各委員会、各地区活動報告を受けて、

・地区会員が、「九州支部各委員会及び各支部の活発な活動報告を聞き、大変勉強になったし、活動に頭が下がる思いでした」との感想を寄せました。

・今林さんの提案によるＪＳＣＡ構造デザイン発表会への九州支部参加作品の紹介により、　作品発表時の雰囲気の様子を疑似体験したことで、今まで作品資料を通してＪＳＣＡ発表会を遠くに捉えていましたが、それが一気にその距離を縮めた感がありました。「これは、是非とも京都での発表会を見学しよう」との思いを強くしました。

そのことが地区会からの旅費半額補助による京都発表会への会員 8 人の派遣に繋がりました。

当日の夜は 8 人が会して、発表会見学の感想等々の話題で楽しい酒会になりました。

※役員会風景

沖縄開催で、“ かりゆしウエア ” 着用が目につきました。

○9 月 7 日　懇親会Ⅰ部　　サンセットクルージング＆バーベキュー

役員会のオプションツアーで見学した海底トンネル換気塔の空港側と対岸側を両舷にみて航行するクルージング。波も穏やかでクルージング日よりでした。イベント会社と何度かマイク使用許可を交渉したのですが、他のお客さんへの配慮から使用ができませんでした。自己紹介の挨拶、その他がマイク無しでは声が通らないので、開会の挨拶程度に留め無ければ成らず、無念さが残りました。

乗船手続き中

沖縄の太陽は陽が落ちるまで暑い。

なでしこ会の新規会員と浅田班長と
尾宮支部長、今林さん、北海道支部山脇さん

沖縄地区会会員　根路銘（ネロメ）さん
による草笛演奏

この夕焼けに気づいた人が何人いたか

宴　たけなわ

○9 月 7 日　懇親会Ⅱ部　　我如古（がねこ）より子　民謡ステージ　「歌姫」

我如古より子さんは、沖縄では有名な民謡歌手です。
地区会員でⅡ部の企画担当の島袋さん（(株)国建）は、此処をしーぐぁー（根城、行きつけ）にしています。

懇親会Ⅱ部のテーマ　一文字“壊”　「再生力を信じて、一度自分を壊してみる」

Ⅱ部進行役　島袋の挨拶で“壊”の宴始まり

なでしこ会　壊その１

なでしこ会　壊その２　兆しあり

尾宮支部長　頑張る

尾宮支部長　やっぱり壊れる。
長崎地区会　久松さん、壊れる。

最後は、カチャーシ踊りで“全壊”
因みに、店、貸し切りに非ず。他の客も有り

最後に、役員会を成功に導いた面々（敬称略）

幹事　　：花城和雄、
副幹事　：安里 和敏、小波津和也、
事務局　：新川 清則
地区会員：東江 直司、石垣 健造、島袋 敦、新城安照、田原 邦俊、友知義路、西平 博次、
　　比嘉 琢馬、水野 和男、宮里 尚文、宮城修、与儀敏治、根路銘安弘、山盛 善貴、
賛助会員：下地　博子、宮城　純子

＜＜　沖縄地区会の皆様、ありがとうございました。＞＞

編集後記

□　執筆者の皆様には、大変忙しい中、ご執筆いただきましてありがとうございます。

□　２２号メール版を発行いたします。発行が大幅に遅れましたことをお詫びいたします。
今号の目玉として、昨年 9 月に沖縄で開かれた役員会報告を沖縄地区会の皆様に執筆頂き、巻末（と言っても 5 ページに渡る大作です）に掲載させて頂きました。ご一読ください。

□　機関紙「ＪＳＣＡ九州」は支部会員、賛助会員の皆様のご協力がなければ、編集担当だけでは発刊できません。年 4 回の発行をめざしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

☆★（今林・石井・福田　記）